

榮山寺	(奈良)	一五五
應山寺	(山梨)	四五四
延壽寺	(岐阜)	四一五
延命寺	(三重)	二八八
延命寺	(大阪)	二四四
延命寺	(奈良)	一四四
延命寺	(滋賀)	一七〇
延命寺	(神奈川)	四八九
延命寺	(神奈川)	四八七
延命寺	(兵庫)	三〇三
延命寺	(岐阜)	四一四
延命寺	(京都)	四一〇
延命寺	(滋賀)	一九〇
延命寺	(岐阜)	四一〇
延命寺	(奈良)	一一〇
延命寺	(福井)	四六四
延命寺	(奈良)	一一六
延命寺	(滋賀)	二二八
延命寺	(滋賀)	三八二
延命寺	(福井)	三八二

圓通寺	(京都)	四五
圓通寺	(栃木)	五二五
圓通寺	(滋賀)	一六九
圓通寺	(京都)	七九
圓通寺	(奈良)	一四二
圓通寺	(茨城)	五二二
圓通寺	(滋賀)	一六六
圓通寺	(滋賀)	二〇三
圓通寺	(東京)	四九九
圓通寺	(京都)	八九
圓通寺	(福岡)	三八一
圓通寺	(滋賀)	一九五
圓通寺	(滋賀)	一九二
圓通寺	(滋賀)	一八七
圓通寺	(兵庫)	一七九
圓通寺	(石川)	四六七
圓通寺	(愛知)	四二八

御熊甲	(石川)	四七一
御室所	(京都)	五二
御藥師	(石川)	四六八
意賀美神社	(大阪)	二四九
雄山神社	(岐阜)	四一
雄山神社	(富山)	四七三
於美阿志神社	(奈良)	一四九
老杉神社	(滋賀)	一八五
大寺	(京都)	六一
大寺	(大阪)	二三四
大寺	(京都)	七七
大寺	(奈良)	一四七
大寺	(滋賀)	一八二
大寺	(兵庫)	三一〇
大寺	(愛知)	四二五
大寺	(香川)	三六〇
大寺	(大阪)	二四九
大寺	(山梨)	四五三
大寺	(靜岡)	四三八
大寺	(奈良)	一四三

大神山神社	(鳥取)	三二六
大徳原神社	(滋賀)	一九〇
大崎八幡神社	(宮城)	五三五
大鳥神社	(京都)	一九
大鳥神社	(滋賀)	二〇五
大清水觀音	(新潟)	四七八
大須觀音	(愛知)	四二二
大田山	(高知)	三七三
大歳御祖神社	(静岡)	四三七
大鳥神社	(滋賀)	一九九
大鳥神社	(大阪)	二二六
大鳥神社	(香川)	三五五
大野	(奈良)	一四七
大野	(滋賀)	一八二
大野	(愛知)	四三〇
大野	(滋賀)	一九九
大野	(大阪)	二二九
大野	(京都)	七八
大野	(神奈川)	四八三
大野	(愛媛)	三六四

大見神社	(滋賀)	二二三
大村神社	(兵庫)	三〇八
大物忌神社	(三重)	二八八
大山祇神社	(山形)	五五一
大山田神社	(愛媛)	三六四
應舉寺	(長野)	四四八
應舉寺	(京都)	八五
王子神社	(兵庫)	三〇六
王子神社	(福島)	五三二
横藏寺	(神奈川)	四九二
横池院	(岐阜)	四一四
櫻梅神社	(和歌山)	二六一
櫻梅神社	(奈良)	一一四
近江五智寺	(滋賀)	二二四
黄梅院	(京都)	一五
黄梅院	(神奈川)	四九〇
黄船山	(京都)	七二
栗船山	(神奈川)	四九〇
同船山	(奈良)	一五〇
冲繩神社	(神奈川)	四〇九

奥石神社	(滋賀)	二〇七
奥津島神社	(滋賀)	二〇五
奥之院	(奈良)	一五三
押立神社	(福島)	五三〇
乙津寺	(滋賀)	二一五
乙津寺	(岐阜)	四一
乙津寺	(新潟)	四七七
乙津寺	(京都)	六三
音羽ノ藥師	(滋賀)	二二七
男山八幡	(京都)	七八
帶解寺	(奈良)	一一五
國城寺	(滋賀)	一六三
温泉寺	(兵庫)	三〇六
加太神社	(和歌山)	二五四
加茂神社	(滋賀)	二〇二
加茂神社	(兵庫)	三〇四
加茂神社	(京都)	四三
賀茂別雷神社	(京都)	四二

香椎宮	(福岡)	三八一
香取宮	(千葉)	五〇四
伽耶院	(兵庫)	二九四
河合寺	(大阪)	二四四
河内一ノ宮	(大阪)	二四六
河内女人高野	(大阪)	二四〇
鹿兒島神社	(茨城)	五一四
鹿兒島神社	(鹿兒島)	四〇六
鹿田不動尊	(岡山)	三二〇
戒光寺	(京都)	一一
戒壇院	(奈良)	一〇二
戒壇院	(福岡)	三八四
海岸寺	(山梨)	四五七
住山寺	(京都)	八二
海龍王寺	(京都)	二九
海龍王寺	(奈良)	一一二
開運厄除觀音	(奈良)	一一一
鏡島ノ弘法	(滋賀)	二二二
鏡島ノ弘法	(岐阜)	四一一
柿本神社	(兵庫)	二九二

覺蘭寺	(神奈川)	四八五
鶴瀨寺	(大阪)	二二三
鶴瀨寺	(兵庫)	三〇一
鶴瀨寺	(京都)	三五〇
鶴瀨寺	(奈良)	三三〇
鶴瀨寺	(鳥取)	一四〇
鶴瀨寺	(高知)	三七一
懸川神社	(滋賀)	一九二
懸川神社	(栃木)	五二七
懸川神社	(栃木)	五二七
笠置寺	(栃木)	八二
笠置寺	(京都)	八二
笠置寺	(愛知)	四二五
笠置寺	(千葉)	五〇五
笠置寺	(福岡)	三八八
笠置寺	(山梨)	四九五
風浪社	(奈良)	一四九
柏尾社	(奈良)	八七
櫻原社	(京都)	一〇二
春日社	(奈良)	一〇二
春日社	(奈良)	一〇二
春日社	(奈良)	一〇二

鐘	蟹	蟹	梶	梶	龜	金	金	金	金	勝	勝	勝	交	片	春	春	春	春
卷	藥	滿	取	井	岡	澤	櫻	櫻	澤	物	部	手	野	野	日	日	日	日
寺	師	寺	山	殿	社	寺	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
(道成寺)	(願興寺)	(善門山)	(三千年)	(三千年)	(三千年)	(稱名寺)	(山梨)	(山梨)	(山梨)	(勝部物部大明神)	(勝部物部大明神)	(勝部物部大明神)	(博菜宮)	(河内一宮)	(若宮)	(若宮)	(若宮)	(若宮)
(和歌山)	(岐阜)	(和歌山)	(和歌山)	(和歌山)	(和歌山)	(和歌山)	(山梨)	(山梨)	(山梨)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(大阪)	(大阪)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)
二七一	四一六	八三	二五一	四〇〇	四〇〇	四八一	五〇九	四五七	一八四	一八四	二二二	二三八	二四六	二四六	二二四	一八二	一八一	一五九

川	雁	枳	寬	菅	寒	神	神	神	神	上	上	上	龜	釜	鎌	甲	甲	甲
枯	田	穀	永	山	松	田	魂	谷	峯	島	賀	賀	岡	口	倉	斐	斐	斐
神	藥	寺	寺	院	社	社	社	社	社	社	寺	寺	社	師	佛	宮	宮	宮
(淨光寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)	(常忍寺)
(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)
二〇〇	四五一	三三三	四九七	二二六	二七六	一七九	三三七	三五八	二二七	四〇〇	四四六	四〇二	三〇六	五三五	一四五	四八六	二九二	四五六

觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀	觀
普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普	普
堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂	堂
(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)	(高福寺)
(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)
一八九	一八八	一八五	八七	五一七	四二五	三八二	三六一	二八七	二七六	二一九	二〇六	一八四	一四一	七八	二〇三	五二五	四七九	四五六	四五六

索引

一

金峯山社 <small>〔金精明神〕</small>	金龍寺	金龍寺 <small>〔慈照寺〕</small>	銀閣寺 <small>〔慈照寺〕</small>	くすれ堂 <small>〔寶輪寺〕</small>	九手神 <small>〔淨瑠璃寺〕</small>	九品佛 <small>〔船坂觀音〕</small>	九品佛 <small>〔遠臺寺〕</small>	久世神 <small>〔京郡〕</small>	久津八幡神社 <small>〔京郡〕</small>	久能山東照宮 <small>〔東照宮〕</small>	久麻加夫都阿良加志比古神社 <small>〔御膳甲〕〔石川〕</small>	久米田寺 <small>〔大阪〕</small>	弘福寺 <small>〔奈良〕</small>	弘明寺 <small>〔神奈川〕</small>
(奈良)	(奈良)	(奈良)	(京郡)	(奈良)	(京郡)	(京郡)	(長野)	(京郡)	(京郡)	(京郡)	(御膳甲)	(大阪)	(奈良)	(神奈川)
一五七	一五六	一四三	五一五	一二八	八〇	八七	八七	四五一	四五六	四一八	四一八	四七一	一五〇	四八一

求法寺 <small>〔走井堂〕</small>	釘部無堂 <small>〔孝恩寺〕</small>	日部無社	柳岩窟神社 <small>〔大宮〕</small>	柳引入幡宮 <small>〔八幡宮〕</small>	百濟寺	百濟寺	國玉神社	國津神社	國瑞彦神社	窪八幡神社 <small>〔大井候神社〕</small>	熊野神 <small>〔大井候神社〕</small>	熊夫須美神社	熊野速玉神社	藏館村ノ大日堂 <small>〔大宮〕</small>	鞍馬寺	樟葉宮 <small>〔交野天神社〕</small>	黒野神 <small>〔谷〕</small>	黒野神 <small>〔谷〕</small>	桑實寺 <small>〔桑ノ峯藥師〕</small>
(滋賀)	(大阪)	(大阪)	(兵庫)	(青森)	(奈良)	(滋賀)	(福岡)	(三重)	(徳島)	(山梨)	(岡山)	(和歌山)	(和歌山)	(青森)	(京郡)	(大阪)	(京郡)	(兵庫)	(滋賀)
一七五	二四七	二二六	三一〇	五四四	一五四	二一四	三八九	二八二	三四九	四三三	三一六	二七三	二七二	五四四	四二	二四六	三〇八	三〇八	二〇五

桑ノ峯藥師 <small>〔桑實寺〕</small>	氣多神社 <small>〔能登ノ宮〕</small>	氣比神社 <small>〔谷汲サシ〕</small>	華嚴寺	華藏寺	桂昌院	慶壽院	鷗足寺	鷗足寺	結縁寺	月光山 <small>〔藥師堂〕</small>	月照庵	見性寺	見性寺	長仁寺	建仁寺	建仁寺	建仁寺	建仁寺
(滋賀)	(石川)	(福井)	(岐阜)	(鳥根)	(京郡)	(京郡)	(藤岡)	(滋賀)	(栃木)	(千葉)	(高知)	(兵庫)	(滋賀)	(兵庫)	(神奈川)	(京郡)	(長野)	(佐賀)
二〇五	四六九	四六一	四一三	三二七	三〇	四四〇	二二四	五二七	五〇三	三七五	二九二	一九八	三〇五	四八六	二二	四四八	三九六	三九六

現光庵	元明院	小泉神社	小比叡山 <small>〔遠藤峯寺〕</small>	小松山觀世音 <small>〔大興寺〕</small>	粉河寺	黃金堂 <small>〔長壽寺〕</small>	虛空藏寺 <small>〔勝因寺〕</small>	虛空藏堂	虎溪山 <small>〔水保寺〕</small>	子青觀音 <small>〔千壽院〕</small>	子安觀音 <small>〔千壽院〕</small>	古四王神社	庫藏寺	許波多神社 <small>〔柳神社〕</small>	木幡神社	
(京郡)	(京郡)	(奈良)	(新潟)	(佐賀)	(和歌山)	(山形)	(三重)	(愛知)	(岐阜)	(奈良)	(埼玉)	(秋田)	(三重)	(京郡)	(栃木)	
八〇	一四四	一四一	四八〇	三九六	二五五	五五一	二八六	四二七	四一六	一四九	五〇八	二七六	五四七	二八八	七三	五二六

高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	光	光	光	光	光	光	光	光	
桐	田	臺	藏	成	城	寺	山	山	坐	源	岳	越	明	明	明	明	明	明	
院	寺	寺	寺	寺	院	寺	寺	寺	現	寺	院	坊	寺	寺	寺	寺	寺	寺	
(京都)	(愛知)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	
一六	四二六	一一一	五三七	四六四	三九六	四〇四	三一八	四〇四	四七一	三〇九	四二四	三五二	三四〇	五〇九	四八四	三三四	二七七	二四六	二〇七

索引

興	興	興	興	興	功	弘	弘	弘	弘	向	向	孝	高	高	高	高	高	高	高
禪	禪	禪	善	聖	聖	法	仁	泉	憲	上	嶽	恩	雄	野	野	福	福	德	德
寺	寺	寺	寺	寺	寺	師	院	院	寺	寺	寺	寺	堂	山	山	寺	寺	院	院
(長野)	(奈良)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)
四四九	一五九	九〇	二四九	二二七	六	三四四	四四三	一一五	三七五	三五五	三四〇	四五四	二四七	一五三	七三	二五五	一八九	一六〇	四八六

一七

護	護	護	護	護	護	御	御	御	御	五	五	五	五	五	五	小	胡	孤		
國	國	國	國	國	國	靈	靈	靈	靈	坊	大	大	大	大	大	松	宮	蓬		
寺	寺	院	院	院	院	社	社	社	社	山	堂	院	塔	社	院	寺	社	庵		
(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	
四九六	三一	二九九	四九七	二九六	二九六	二五二	二九六	一五六	八四	六五	二六三	三七二	五三六	二六四	三四八	四三七	一一〇	五一	二一八	一六

索引

光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	光	甲	牛	護	護	護	護	護
明	明	明	明	明	明	傳	臺	臺	觸	照	源	久	雲	良	良	伏	摩	念	八	八	國	國
寺	寺	寺	院	院	院	院	院	院	院	寺	寺	院	社	社	社	寺	所	寺	宮	宮	之	之
(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)
一九九	一四〇	八八	六三	三三九	二〇九	一八五	二六五	七一	四八四	二二二	九	三〇五	三〇五	三〇五	二二七	四四八	二五九	二五一	四七五	四一一	四一一	

一六

興德寺	興福院	興福寺	興隆寺	神野寺	廣福寺	廣福寺	廣利寺	廣勝寺	國勝寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺
(福)	(奈良)	(奈良)	(愛媛)	(奈良)	(佐賀)	(佐賀)	(和歌山)	(京都)	(岡山)	(奈良)	(兵庫)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)	(山口)
三八七	一一二	一一二	二二四	三六八	三九八	三九八	二六八	四九二	三二七	八一	一五一	三一	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三

國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺	國分寺
(愛知)	(愛知)	(長野)	(福岡)	(福岡)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)	(新潟)
四二八	四三四	四四六	三八四	四七九	四八〇	四九一	五〇〇	四二八	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一	四九一

金刀比羅宮	金光明四天玉護國寺	金剛院	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺	金剛寺
(香川)	(高知)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)
三五九	三三〇	三三三	八八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八	二〇八

金倉寺	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院	金胎院
(香川)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)
三五九	二六六	八二	一八六	二二六	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三

索引

石	寂	出	聚	壽	壽	壽	松	松	勝	勝	勝	勝	勝	勝	勝
峯	靜	石	光	寶	量	峰	浦	光	寫	隱	生	因	久	持	常
寺	院	寺	院	寺	院	寺	院	院	寺	堂	院	寺	寺	寺	寺
(兵庫)	(滋賀)	(愛媛)	(京都)	(神奈川)	(京都)	(香川)	(京都)	(京都)	(京都)	(兵庫)	(京都)	(和歌山)	(三重)	(三重)	(京都)
二九八	二二一	三六九	一四	四八五	七八	一七四	三五八	五〇	五〇	三〇三	二七四	二五一	二八六	二七九	六三

二三

勝	勝	聖	聖	聖	聖	聖	性	性	性	祥	雲	林	福	澤	護	應	林	樂
樂	傳	智	受	光	願	月	覺	覺	覺	高	海	海	雲	林	福	澤	護	應
寺	院	院	寺	寺	堂	院	院	院	院	寺	寺	寺	寺	院	院	寺	寺	寺
(和歌山)	(奈良)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(三重)	(福岡)	(石川)	(滋賀)	(愛知)	(福井)	(愛知)	(大阪)	(奈良)	(福岡)	(京都)	(京都)	(奈良)	(奈良)
二六九	一三九	一九一	二二	五〇	三七九	一四四	二三四	四二七	四六〇	四二四	二一〇	四六九	三八七	一八五	一一一	二七一	一七一	二六四

索引

鹽	十	十	十	十	十	十	修	酬	持	持	侍	自	慈	慈	慈	慈	慈	慈
六	八	念	九	福	恩	寶	真	性	芳	心	照	照	光	眼	眼	眼	眼	眼
社	社	社	社	山	寺	庵	寺	院	院	院	院	院	院	寺	院	寺	寺	院
(宮城)	(奈良)	(兵庫)	(奈良)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)	(京都)
五三六	一一一	三〇二	一一一	七四	三〇九	四四三	七七	一九六	五三七	三二八	三〇	二四	一	九	五〇八	二〇七	二四九	二四九

二三

積	舍	釋	釋	釋	釋	釋	下	下	鳥	芝	篠	篠	實	實	實	室	重	敷
善	那	迦	迦	迦	迦	迦	賀	賀	御	原	原	津	藏	相	相	泉	藏	地
院	院	院	堂	堂	堂	堂	寺	社	社	社	社	社	坊	寺	院	寺	社	社
(京都)	(滋賀)	(和歌山)	(長野)	(和歌山)	(滋賀)	(京都)	(香川)	(京都)	(京都)	(京都)	(大分)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)	(大阪)	(京都)	(東京)	(石川)
一八	二二〇	二六四	四四五	二五四	二二六	五九	三五六	四三	一九	二〇五	三九四	一八九	一八〇	一七五	二三一	四三	四九九	四七一

成	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常	常
願	樂	樂	樂	明	福	福	福	福	福	盤	忍	禪	善	念	念	住	勝	照	寂	
寺	寺(栗船山)	寺(西寺)	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺(松殺寺)	寺(不動寺)	寺	寺	寺(極樂院)	寺(承天寺)	寺	庵	寺	
(三重)	(神奈川)	(富士)	(滋賀)	(滋賀)	(茨城 新治郡)	(茨城 那珂郡)	(富山)	(佐賀)	(三重)	(奈良)	(鳥取)	(福井)	(滋賀)	(青森)	(滋賀)	(福井)	(兵庫)	(京都)		
二八一	四九〇	四七四	一九二	一九七	五一六	五一三	四七四	三九七	二八七	一五四	三二三	四六五	一八五	五四四	一九〇	三七九	三〇九	二二六	六一	

淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨	淨
智	泉	樂	信	得	光	光	嚴	顯	慶	橋	教	蓮	乘	宮	蓮	善	福	相							
寺	寺(尾花除藥師)	寺(大御堂)	寺(木之不地蔵)	寺	寺(雁田藥師)	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺(千木頭十二坊)	寺(日雲觀音)	寺	寺	院	院	寺							
(神奈川)	(福島)	(神奈川)	(滋賀)	(滋賀)	(長野)	(滋賀)	(滋賀)	(奈良)	(兵庫)	(和歌山)	(京都)	(滋賀)	(茨城)	(和歌山)	(滋賀)	(兵庫)	(京都)								
四八九	五三一	四八三	二二五	四五九	四八五	一八三	二〇五	二〇二	一七	二九五	二六九	三八	一九四	五一三	二五九	二一八	二六七	三一一							

小	小	小	相	照	照	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正
公	童	山	國	蓮	願	林	蓮	曆	曆	祐	明	法	法	法	法	法	福	福	德				
社(四條院神社)	寺	寺	寺	寺	寺	庵	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺(大日寺)	寺(岩間寺)	寺	庵	寺	寺(お大日さん)	寺				
(大阪)	(兵庫)	(茨城)	(京都)	(慶應)	(千葉)	(福井)	(奈良)	(奈良)	(京都)	(大阪)	(滋賀)	(滋賀 高島郡)	(滋賀 栗太郡)	(滋賀 綠賀郡)	(京都)	(三重)	(滋賀)	(滋賀)	(滋賀)				
二四六	二九四	五一二	八	三四〇	五〇五	四六四	一五一	一一五	八八	二二二	二〇八	二二八	一八一	一六九	七九	二八四	二〇一	一九五	一八二				

常	常	常	城	城	昌	少	青	青	生	生	稱	稱	稱	證	承	清	清	清	招
光	喜	覺	光	安	林	林	蓮	蓮	蓮	蓮	名	名	名	善	天	淨	淨	淨	提
寺	院	寺	寺	寺	寺	寺	院(栗田)	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	院	院	寺	寺(唐招提寺)
(滋賀)	(和歌山)	(奈良)	(島根)	(島根)	(兵庫)	(滋賀)	(京都)	(滋賀 藤生郡)	(滋賀 神崎郡)	(滋賀 神奈川)	(奈良)	(京都)	(神奈川)	(神奈川)	(福井)	(和歌山)	(神奈川)	(奈良)	
一九八	二六八	一五九	三三四	三二八	二九二	二二一	四〇三	五	二〇三	二一四	四八一	一一〇	七七	四九〇	三七九	二六〇	四九一	一〇	一三三

宅間寺(報國寺)	(神奈川)	四八六
建勳神社	(京都)	一八
建部神社	(滋賀)	一八六
建水分神社	(大阪)	二四〇
竹田神社	(滋賀)	二〇九
武田神社	(山梨)	四五五
橋本觀音寺	(奈良)	一五〇
立木觀音寺	(福島)	五三〇
立江寺	(德島)	三五〇
連身寺(十九山)	(兵庫)	三〇九
連磨寺	(奈良)	一五三
谷波サ	(岐阜)	四一三
種間寺(種苜寺)	(高知)	三七六
種間寺(種苜寺)	(高知)	三七六
玉島社(神功皇后宮)	(佐賀)	三九七
玉垂神社	(靜岡)	四四四
玉組神社	(福岡)	三八八
玉村八幡宮	(大阪)	二四七
白玉手祭來酒解神社	(群馬)	五二〇
	(京都)	一六四
寶積寺(最教寺)	(京都)	一六四
談山神社	(長崎)	四〇〇
丹後ノ松尾山(松尾山)	(奈良)	一四五
丹後國一ノ宮(龍神社)	(京都)	八九
誕生院(善通寺)	(京都)	九一
檀王法林寺(檀王)	(香川)	三六〇
	(京都)	一八
	(京都)	一八
知恩院(大谷寺)	(京都)	一九
知恩寺(百萬遍)	(京都)	一八
知立神社(池鯉鮒大明神)	(愛知)	四三〇
智恩寺(切戸ノ文珠)	(滋賀)	二二〇
智積院	(京都)	九〇
智禪寺	(長野)	四四九
智滿寺	(京都)	二五
	(滋賀)	一九五
	(靜岡)	四四〇
	(奈良)	一五四

乳房觀音(千手觀音)	(福岡)	三八九
池鯉鮒大明神(知立神社)	(愛知)	四三〇
地主神社	(滋賀)	一八〇
地藏院	(京都)	五二
地藏院	(京都)	七六
地藏院	(奈良)	一一五
地藏院	(奈良)	一二一
地藏院	(奈良)	二六二
地藏院	(和歌山)	二七六
地藏院	(三重)	二七八
地藏院	(三重)	三六一
地藏院	(香川)	四二四
地藏院	(愛知)	一〇九
地藏院	(奈良)	一八五
地藏院	(滋賀)	一八三
地藏院	(滋賀)	二二六
地藏院	(滋賀)	二二九
地藏院	(滋賀)	二五九
地藏院	(滋賀)	二五九
地藏院	(和歌山)	二五九
地藏院	(和歌山)	二五九
地藏院	(奈良)	一三八
中尊寺外十七箇院	(長野)	四四七
中藏院	(關山)	三三三
中道院	(京都)	八六
仲源寺	(京都)	三七
忠恩寺	(長野)	四五一
近長谷寺	(三重)	二八三
竹林院	(奈良)	一五七
竹林院	(高知)	三七二
竹林院	(滋賀)	二二三
竹林院	(新潟)	四八〇
長安寺	(長野)	四四九
長緣寺	(滋賀)	二二五
長岳寺	(奈良)	一四五
長弓寺	(奈良)	一一〇
長宮院	(滋賀)	三七九
長源寺	(滋賀)	四六二
長興寺	(滋賀)	四二九
長講堂(元六條御所)	(愛知)	四三三
	(京都)	二六

照國神社	鐵舟寺 <small>〔觀音堂〕</small>	出羽神社 <small>〔羽黒山〕</small>	〔元〕	劍嶺神社	鶴岡八幡宮	積川五社 <small>〔積川神社〕</small>	積川神社 <small>〔積川五社〕</small>	妻薬師 <small>〔高田寺〕</small>	壹飯寺 <small>〔南法華寺〕</small>	常宮神社	綱明神社 <small>〔綱明神社〕</small>	綱明神社 <small>〔綱明神社〕</small>	筑波山神社	月輪寺	津島神社	都々古別神社	都々古別神社
(鹿見島)	(静岡)	(山形)		(福井)	(神奈川)	(大阪)	(大阪)	(愛知)	(奈良)	(福井)	(栃木)	(栃木)	(茨城)	(京都)	(愛知)	(福島)	(福島)
四〇五	四三八	五五一		四六一	四八三	二四九	二四九	四二六	一四九	四六二	五二五	五二五	五一六	六二	四二九	四〇六	五三一

轉法輪寺	傳乘寺	傳香寺	天倫寺	天龍寺	天皇神 <small>〔和歌山〕</small>	天皇神 <small>〔滋賀〕</small>	天皇神 <small>〔奈良〕</small>	天皇神 <small>〔大阪〕</small>	王念寺 <small>〔大分〕</small>	念寧寺 <small>〔京都〕</small>	寧台神 <small>〔鹿手〕</small>	神授 <small>〔静岡〕</small>	神授 <small>〔京都〕</small>	球真寺 <small>〔京都〕</small>	恩球寺 <small>〔京都〕</small>	神恩社 <small>〔愛知〕</small>	神恩社 <small>〔滋賀〕</small>
(兵庫)	(大分)	(奈良)	(鳥根)	(京都)	(和歌山)	(滋賀)	(奈良)	(大阪)	(大分)	(京都)	(鹿手)	(静岡)	(京都)	(京都)	(京都)	(愛知)	(滋賀)
二九七	三九一	一一一	三二七	五七	二五三	一七九	一四三	二三一	三九一	八八	五四一	四四三	五一	四九六	五一	四三二	二二八

長保寺 <small>〔和歌山〕</small>	長福寺 <small>〔京都〕</small>	長福寺 <small>〔香川〕</small>	長福寺 <small>〔岡山〕</small>	長福寺 <small>〔滋賀 甲賀郡油日村〕</small>	長福寺 <small>〔滋賀 甲賀郡大原村〕</small>	長福寺 <small>〔奈良〕</small>	長福寺 <small>〔京都〕</small>	長福寺 <small>〔山梨〕</small>	長福寺 <small>〔徳島〕</small>	長福寺 <small>〔大阪〕</small>	長福寺 <small>〔三重〕</small>	長福寺 <small>〔茨城〕</small>	長福寺 <small>〔香川〕</small>	長福寺 <small>〔滋賀〕</small>	長福寺 <small>〔山形〕</small>	長福寺 <small>〔滋賀〕</small>	長福寺 <small>〔山梨〕</small>	長福寺 <small>〔福島〕</small>	長福寺 <small>〔福島〕</small>
(和歌山)	(京都)	(香川)	(岡山)	(滋賀 甲賀郡油日村)	(滋賀 甲賀郡大原村)	(奈良)	(京都)	(山梨)	(徳島)	(大阪)	(三重)	(茨城)	(香川)	(滋賀)	(山形)	(滋賀)	(山梨)	(福島)	(福島)
二五三	六四	三五六	三二一	二〇〇	一九八	一一九	一六一	四五三	三五三	二三四	二八三	五一五	三五七	一九八	五五一	一九三	四五七	四四二	三八二

都久夫須麻神社 <small>〔竹生島神社〕</small>	都祁水分神社	珍皇寺 <small>〔京都〕</small>	鎮西山 <small>〔善導寺〕</small>	湖音寺 <small>〔福島〕</small>	朝護孫子寺 <small>〔信貴山〕</small>	朝護孫子寺 <small>〔信貴山〕</small>	朝田光寺 <small>〔朝田ノ地蔵〕</small>	朝田光寺 <small>〔朝田ノ地蔵〕</small>	長隆寺 <small>〔石川〕</small>	長隆寺 <small>〔石川〕</small>	長隆寺 <small>〔福島〕</small>	長隆寺 <small>〔三重〕</small>	長隆寺 <small>〔徳島〕</small>	長隆寺 <small>〔鳥取〕</small>	長隆寺 <small>〔兵庫〕</small>	長隆寺 <small>〔滋賀〕</small>	長隆寺 <small>〔滋賀〕</small>	長命寺 <small>〔愛知〕</small>	長命寺 <small>〔愛知〕</small>	長命寺 <small>〔大阪〕</small>
(奈良)	(奈良)	(京都)	(福島)	(福島)	(奈良)	(奈良)	(兵庫)	(石川)	(福島)	(三重)	(徳島)	(鳥取)	(兵庫)	(滋賀)	(滋賀)	(愛知)	(愛知)	(大阪)	(大阪)	
一四二	一三三	二二三	三八八	二〇八	一一九	二八三	三〇〇	四七一	五三二	二八七	三五三	三二六	三〇二	三〇二	二〇七	二〇四	四二四	二二三	二二三	

中山寺	(兵庫)	二九三
波切不動(南院)	(愛知)	四二三
波上宮	(和歌山)	二六四
成相寺	(神龜)	四〇九
南宮社	(京都)	九〇
南光坊(瑞瑞寺)	(岐阜)	四一二
南禪坊	(兵庫)	三〇六
南明僧坊	(京都)	三
南明寺	(奈良)	一一九
南明寺	(奈良)	一一六
南龍社	(山口)	三四五
南龍社	(和歌山)	二五三
南龍社	(三重)	二八二
南龍社	(福岡)	三八二
南龍社	(兵庫)	二八九
南龍社	(千葉)	五〇五
楠公社(湊川神社)	(京都)	三四四
楠公院(安養寺)	(京都)	五九

二村神社	(兵庫)	三一〇
錦織神社(舊古里ノ宮)	(大阪)	二四〇
爾古里ノ宮(錦織神社)	(大阪)	二四〇
丹生山(西郷寺)	(三重)	二八三
丹生神社	(奈良)	一一七
丹生神社	(和歌山)	二五五
丹生部比賣神社(天野宮)	(和歌山)	二六七
水生部比賣神社(天野宮)	(香川)	三五五
水主神社(大水主大明神)	(和歌山)	二六二
西谷(不動院)	(和歌山)	一九二
西谷(常樂寺)	(奈良)	一一六
西本願寺(木願寺)	(京都)	一一六
西宮神社	(兵庫)	二九一
西宮神社	(兵庫)	三〇九
西田神社(高深寺)	(兵庫)	三〇九
新田八幡宮(新田八幡宮)	(鹿兒島)	四〇五
新田八幡宮(新田神社)	(鹿兒島)	四〇五
日光寺(梅ノ寺)	(岡山)	三一八
日本橋毘沙門堂(大乗坊)	(大阪)	二二三
日本龍峯寺(高深觀音)	(岐阜)	四一六
若王寺	(和歌山)	一八一

若王子神社(福地権現さん)	(兵庫)	二九三
如来寺	(福島)	五三三
如来堂(新等光寺)	(滋賀)	一八三
如意輪寺	(奈良)	一五七
如意輪寺	(和歌山)	二六六
如意輪寺	(徳島)	三五〇
忍辱山寺(圓福寺)	(奈良)	一一六
仁和寺(御室御所)	(京都)	五二
貫前神社	(群馬)	五一九
根來寺(大傳法院)	(和歌山)	二五五
根津神社	(東京)	四九七
念佛寺	(京都)	三六二
乃木神社	(東京)	四九八
野田神社	(山口)	三四七

能登化院	(京都)	七三
能登一ノ宮(氣多神社)	(石川)	四六九
能満院	(兵庫)	二九〇
能満院	(奈良)	一四四
羽賀寺	(福井)	四六三
羽黒山(出羽神社)	(山形)	五五一
土師神社(道明寺天満宮)	(大阪)	二四五
幡頭神社	(愛知)	四三一
長谷観音堂	(山口)	三四八
長谷観音寺(長谷寺)	(神奈川)	四八六
長谷観音寺(長谷觀音)	(神奈川)	四八六
長谷寺	(奈良)	一四三
長谷寺	(新潟)	四八〇
長谷寺	(新潟)	三八〇
梅林寺	(三重)	二七七
初午寺(通光院)	(香川)	三六一
萩原寺(地蔵院)	(新潟)	四七九
白山権現	(新潟)	四七九
白山神社(白山権現)	(新潟)	四七九

法 案 寺 南 坊	法 安 寺	法 華 寺	法 華 寺 【木】	法 華 寺 【國分尼寺】	通 明 院	通 明 院	通 照 院	通 照 院	通 照 院	通 照 院	別 所 藥 師 【勝樂寺】	兵 主 神 社	兵 主 神 社	米 山 寺	平 田 寺	平 藏 堂 【西願寺】				
(大 阪)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(大 阪)	(大 阪)	(廣 島)	(靜 岡)	(千 葉)				
二 三 二	二 六	一 一 三	四 二 八	五 〇 三	三 一 五	二 六 三	二 六 三	二 六 三	三 一 七	二 六 九	二 四 九	一 八 八	三 四 〇	三 四 〇	四 四 〇	五 〇 四				
法 明 寺	法 然 寺	法 然 寺	法 道 寺	法 傳 寺	法 藏 寺	法 善 寺	法 泉 寺	法 泉 寺	法 住 寺	法 常 寺	法 性 寺	法 金 剛 院	法 光 寺	法 觀 寺	法 界 院	法 界 院	法 音 寺	法 恩 寺	法 雲 寺	
(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)
八 四	三 五 七	一 一	二 三 六	四 七 九	一 八 八	四 五 七	八 三	七 九	四 四 七	八 五	三 〇	四 七	二 〇 七	二 二	七 二	三 一 三	二 七 〇	五 〇 八	二 〇 九	

寶 山 社	寶 山 寺	寶 嚴 寺	寶 嚴 寺	寶 光 寺	寶 光 寺	寶 光 寺	寶 龜 院	寶 嚴 寺	寶 戒 寺	寶 提 禪 寺	寶 提 禪 寺	寶 福 寺	寶 起 寺	寶 蓮 寺	寶 輪 寺	寶 輪 寺	寶 輪 寺	寶 隆 寺	寶 樂 寺		
(廣 島)	(奈 良)	(三 重)	(滋 賀)	(同 山)	(同 山)	(滋 賀)	(滋 賀)	(和 歌 山)	(愛 媛)	(神 奈 川)	(滋 賀)	(奈 良)	(滋 賀)	(香 川)	(奈 良)	(奈 良)	(京 都)	(京 都)	(京 都)		
三 三 九	一 二 八	二 八 八	二 二 二	三 一 五	一 八 五	一 七 五	二 六 八	三 六 三	四 八 五	一 九 五	一 一 五	二 二 八	一 三 九	三 六 一	一 三 九	一 一 三	六 一	一 六 〇	一 八 一		
寶 燒 彌 陀 堂 【光觸寺】	寶 財 院 【般若寺】	寶 生 院 【般若寺】	寶 光 寺	寶 伯 耆 ノ 大 山 寺	寶 鳳 閣 寺	寶 寶 林 寺	寶 寶 提 院 【圓德寺】	寶 寶 提 院 【張子大師】	寶 善 提 寺	寶 善 提 寺	寶 福 寺	寶 福 寺	寶 塔 坊 【日向藥師】	寶 城 院 【大須觀音】	寶 生 院	寶 生 院	寶 珠 寺	寶 珠 院	寶 壽 院	寶 壽 院	寶 積 寺 【寶寺】
(神 奈 川)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)	(京 都)
四 八 四	四 七 〇	七 五	四 五 三	三 二 五	一 五 九	八 五	六 三	三 六	三 一 九	一 二 八	六 五	四 九 一	四 二 二	三 七	二 〇 四	一 三 八	四 二 九	二 六 一	六 四	六 四	

蓮華三昧院	(和歌山)	二六三
蓮華定院	(和歌山)	二五九
蓮華寺 <small>(小比叡山)</small>	(新潟)	四八〇
蓮光院 <small>(初午寺)</small>	(三重)	二七七
蓮香寺	(長野)	四四九
蓮嚴院	(佐賀)	三九八
蓮上院	(和歌山)	二六六
蓮乘寺	(滋賀)	一八九
蓮臺寺 <small>(蓮臺寺藥師)</small>	(滋賀)	一八三
蓮臺寺 <small>(九品佛)</small>	(岡山)	三一六
蓮臺寺 <small>(長野)</small>	(長野)	四五一
蓮臺寺 <small>(三重)</small>	(滋賀)	一八三
蓮臺寺 <small>(奈良)</small>	(奈良)	二八七
蓮城寺	(奈良)	一一一
虛山寺	(京都)	一〇
瀧安寺 <small>(箕面山)</small>	(大阪)	二三五
瀧谷寺	(福井)	四六〇
瀧山寺	(愛知)	四三二

【〇】

六波羅密寺	(京都)	二二三
鹿王院	(京都)	二二三
鹿苑寺 <small>(金剛寺)</small>	(京都)	一九
和田神社	(滋賀)	一七〇
和藏堂	(滋賀)	二二六
若狭彦神社	(滋賀)	一八二
若宮八幡神社	(福井)	四六四
若宮神社	(和歌山)	二五三
鷲宮神社	(埼玉)	五一〇
上神谷ノ八幡樓 <small>(櫻井神社)</small>	(大阪)	二三六
藏ノ毘沙門 <small>(大福光寺)</small>	(京都)	八七

【一】

索引 一—五

古社寺保存會規則 (抜萃)

- 一、古社寺保存會ハ、文部大臣ノ監督ニ屬シ、古社寺保存法第二條第四條ニ關スル事項、其ノ他古社寺保存ニ關スル事項ニ付、文部大臣ノ諮詢ニ應ジ意見ヲ開申ス。
- 一、古社寺保存會ハ、會長一人委員二十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス。
- 一、特別ノ事件ヲ審議スル爲ニ、臨時必要ノ場合ニ於テ前條定員ノ外、臨時委員ヲ命ズルコトヲ得。
- 一、會長ハ勲任官ヲ以テ之ニ充ツ。
- 一、委員及臨時委員ハ官吏、又ハ學識若ハ經驗アル者ノ中ニ就キ、文部大臣ノ奏請ニ依リ、内閣ニ於テ之ヲ命ズ。
- 一、古社寺保存會ニ幹事一人ヲ置キ、文部省高等官ヲ以テ之ニ充ツ。

- 一、古社寺保存會ニ書記ヲ置ク。
- 一、文部大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ、委員又ハ其ノ他ノ者ヲシテ、古社寺保存ニ關スル諸般ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得。

古社寺保存法 (抜萃)

國寶ノ指定

- 一、古社寺ニシテ其建造物及、寶物類ヲ維持修理スル事能ハサルモノハ、保存金ノ下附ヲ内務大臣(現今實際ハ文部大臣)ニ出願スルコトヲ得。
- (第一條)
- 一、國費ヲ以テ補助保存スヘキ社寺ノ建造物及寶物類ハ歴史ノ證據、由緒ノ特殊、又ハ製作ノ優秀ニ就キ、古社寺保存會ニ諮詢シテ、内務大臣(現在ハ文部大臣)之ヲ定ム。(第二條)
- 一、社寺ノ建造物及寶物類ニシテ、特ニ歴史ノ價

範トナルヘキモノハ、古社寺保存會ニ諮詢シ、
内務大臣(現在ハ文部大臣)ニ於テ、特別保護建
造物、又ハ國寶ノ資格アルモノト定ムルコトヲ
得。(第四條)

國寶ノ種類

- 一、國寶ハ分ツテ左ノ三種トス、但シ神社ノ祭神
若シクハ寺ノ本尊ハ此限リニアラス。
- 甲種 製作ノ優秀ナルモノ
- 乙種 由緒ノ特殊ナルモノ
- 丙種 歴史ノ證徴トナルモノ
- 甲種ハ製作優秀ノ程度ニ依リ、一等乃至四等ノ
四等ニ分ツ(細則第六條)

下 附 金 額

- 一、特別保護建造物、及國寶ノ修理ニ對シ、國庫
ヨリ補助スル場合ニ於テハ、當該社寺ハ少クト

モ其ノ半額ヲ負擔スベキモノトス。
但シ特別ノ事情アルモノニ限リ、其負擔ヲ輕減
スルコトヲ得。(細則第二條)

- 甲種一等 五〇圓以下三五圓以上
- 同 二等 三五圓以下二〇圓以上
- 同 三等 二〇圓以下一〇圓以上
- 同 四等 一〇圓以下 二圓以上
- 乙種 二〇圓以下 二圓以上
- 丙種 六圓以下 二圓以上

帝室博物館官制 (拔萃)

- 一、宮内省ニ帝室博物館ヲ置ク。
- 一、帝室博物館ハ、古今ノ技藝品ヲ蒐集シ、公衆
ノ觀覽ニ供スル所トス。

- 一、帝室博物館ハ、之ヲ東京及奈良ニ置ク。
- 一、帝室博物館ニ左ノ職員ヲ置ク。
總長、事務官、鑑査官、鑑査官補、屬、技手
- 一、總長ハ勅任トス、各帝室博物館及正倉院ニ關
スル事務ヲ掌理ス。
- 一、事務官ハ專任二人奏任トス。
- 一、鑑査官ハ專任三人奏任トス、列品ノ鑑査解説
陳列、及保管ニ關スル事務ヲ分掌ス。
- 一、鑑査官補ハ判任トス。
- 一、屬ハ判任トス。

博物館其他

東京帝室博物館 (表慶館)

東京帝室博物館は、下谷區上野公園内に在つて、
現今は表慶館の建物だけである。館は明治三十五
年五月、大正天皇の御成婚に際して東京市民が奉

祝の記念にとて建設し、宮内省に獻納したもので
あつて、明治三十四年八月に工を起し、同四十二
年四月落成開館、一般の觀覽を許すこととなつた。
内部を分ちて九室とし、一、八、九、の三室を歴
史部、二より七の六室を美術工藝部に充て隨時展
覽會を催す。

抑も東京帝室博物館は、明治五年二月、博覽會
事務局を正倉院に置かれたに始まり、同二十二年
宮内省に直屬して、初めて帝國博物館と稱し、歴
史、美術、美術工藝、天産物等の各部を設けた。
而して三十三年六月には、東京帝室博物館と改稱
せられ、前掲各部のほか、帝室御用調度類や、
社寺の國寶を陳列して、一般に觀覽せしめたが、
去る大正十四年三月に、天産物陳列品のみは、こ
れを文部省に移管して、自然廢止された。

博物館本館は、二階建三千二百餘坪を有してゐ
たが、大正十二年九月の震災によつて、大破損を

蒙つたので、これを取り壊して了つたが、昭和四年度から、向ふ五ヶ年間の繼續事業として、新築に着手すること、なつてゐる。

観覧日 毎日 観覧料 十銭

奈良帝室博物館

奈良帝室博物館は、奈良市奈良御料地内にあり。本館は明治二八年四月二十九日に開館されたもので、其陳列品の主なるものは、政府の命によりて、各社寺より出陳する國寶、或は國寶たると什寶たるとの別なく、社寺の願望によつて出陳するもの、又は官廳、個人の蔵品をも併せ並べて一般の観覧に供する。

室は分ちて歴史、美術、美術工藝の三部となされ、更に十三室に區分してある。特に繪畫に限りて、毎月二回宛の陳列替をすることになつて居る。蓋し本館は、飛鳥、天平、藤原、鎌倉時代の

佛像佛畫をば、最も多く集めてあるから、斯學研究者には、無二の寶庫であるといつてよい。

観覧日 一月五日より十二月二十五日まで毎日
観覧料 普通大人十銭 小人五銭

正倉院

正倉院は奈良市御料地内にあり、我帝室の寶庫であると同時に、日本の古代文化を如實に物語る貴重無二の資料が、最も豊富に收藏されてある。該院の收藏品は、聖武天皇の崩御後、其御遺品を光明皇后が東大寺に獻納遊ばされたもので、武器農具、其他すべての日用品に至るまで、一として備はらぬものはない。

蓋し此等の品は、すべて天平時代の文化の最高潮を示すもので、歴史上美術上最も貴重なばかりでなく、隨唐西域印度地方の文物を想見するに足るべき好資料であらねばならぬ、正倉院の建築は、

所謂校倉造で、間口十八間八寸強、奥行五間一尺二寸、高さ五間、床下九尺の木造瓦葺で、勅封と成つてゐる。隨つて曝涼及び檢閲には、必ず勅使を差遣せられること、なつて居る。

恩賜京都博物館

京都博物館は、京都市大和七條北入に在る。明治三十年五月一日以降、京都帝室博物館と稱してゐたが、大正十三年一月、今上天皇の御成婚に際して、京都市に下賜された。仍て此の時より恩賜京都博物館と改稱し、市の經營に移された。

本館の陳列品は、各地社寺の國寶、什寶、及び個人の所蔵品等で、これを歴史、美術、美術工藝の三大部門に分ち、十五室に配列される、且時々陳列替を行ひ、又毎年數回特別展覽會を開催する
観覧日 一月五日より十二月二十五日迄毎日
観覧料 大人十銭 小人五銭

高野山靈寶館

紀州高野山寺内にある本館は、主として高野山の各寺院に收藏する各種の美術品を集めて陳列する所、高野山の美術品の優良にして其數の夥しきことは、何人も知る所であるが、これを一所に集めて観覧し得ることは、最も喜ばしい。

本館は大正十年五月十五日の開館で、内部を分ちて、紫雲殿(佛畫)、南廊(經卷 古文書、繪卷) 隅廊(佛像佛器)、西廊(佛像)、放光閣(佛像)の五部とし、繪畫及び古文書は、毎月一回陳列替を行ふこと、成つて居る。

併し有名な赤不動(明王院所藏、國寶全集第二十三輯掲載)と、大元帥明王(西南院所藏)とは秘佛として絶體に陳列せぬので拜觀することが出来ぬ。尤も赤不動は毎年六月二十八日の明王院本尊講の際に限り、拜觀を許される。

観覧日 毎日 観覧料 三十銭

廣隆寺寶物殿

京都府葛野郡太秦村宇蟬岡の廣隆寺は、俗に太秦の太子寺とも稱し、聖德太子の創建にかゝる名刹であるが、其所蔵の佛像佛器類の大部分は、何れも我國最古の美術品として、非常に尊重されて居るが、從來安全にこれを保存すべき建物がなかつた。そこで大正十二年三月、聖德太子千三百年忌の法會を營むに際し、此等の寶物を永久に保存し、且は太子の御偉業を後世に傳へるため記念事業の一として、寶物館の建造に着手し、大正十二年十一月落成し、同時に一般の觀覽を許すこととなつた。

観覧日 毎日

観覧料 三十銭(三十人以上半額)

特別陳列品拜觀日

正倉院曝涼	自十一月一日 至十一月十七日
法隆寺壁畫	自四月一日 至五月十五日
及夢殿拜觀	自十月二十二日 至十一月二十日
東大寺三 月堂拜觀	自四月一日 至五月三十日
建長寺、圓 覺寺虫干	八月下旬
高野山靈寶 館特別陳列	自五月十五日 至五月二十五日 自八月一日 至八月十日 自十月十五日 至十月二十五日

建築語小解

入母屋造 いりもやつくり 屋根妻の下方勾配付で、上方切妻の如き屋根の造り方をいふ。

板葺屋根 いたぶきやね 板で葺いた屋根、板の大きさによつて、大板葺、細葺、柿葺、小板葺など種々の名稱がある。

一間社 いつけんしゃ 神を鎮座する所が、唯一だけの小さな社。

二階造の門のこと。

拜殿 はいでん 神社建築の一で、講拜所のこと、古き神社では拜殿は孤立して居たが、権現造と八棟造の拜殿は、本殿と屋根を連絡することとなつた。

八幡造 はちまんつくり 神社建築の一、内外陣を別棟とし、兩者軒を接する所に、共用の扉あるを普通とする。

梁間 はりま 小屋梁に平行の方、桁行に對する語ゆへ、梁行ともいふ。

破風 やぶかぜ 棟瓦とも書く、屋根切妻の合掌形の板のこと。

二王門 におうもん 寺の權門、左に密迹金剛、右に毘羅延金剛の二神を安置する。

歩廊 ほらう 板敷なく唯敷土または敷瓦などの廊下のこと。

細殿 ほそでん 古語、渡廊下のこと、また廂のことにもいふ。

寶形造 ほうぎやうつくり 四方の隅棟の一箇所に集れる屋根、隅棟の會する所には、露盤其他の飾がある、方形造ともいふ。

本瓦葺 ほんかゝりぶき 平瓦または劔瓦と丸瓦とを、交互に用ひて葺いた屋根。

本殿 ほんでん 神を祭りある所、正殿ともいふ。

幣殿 へいでん 神社の拜殿と本殿との間にありて、幣を手向けする所。

銅板葺 どうばんぶき 銅板で葺いた屋根、其瓦葺あるを本葺、棟に平行に段のあるを段葺、平らに葺いたのを檜葺といふ。

中門 ちゆうもん 表門の次にある門。

渡廊下 わたりのりか 兩建物の間にあつて、これを連絡するための廊下。

廻廊 空地の四周、又は三方にある廊下。

茅葺屋根 茅にて葺いた屋根。

春日造 神社建築の一、正面と背面は破風造で、棟上に千木照額木あり、周りの縁側には勾欄があり、向拜の屋根は本家の屋根に同じ。

四脚門 圓き二本の大柱の前後に、方形の四本の柱を立てたもの、屋根は妻破風造。

四注造 寄棟造のこと、大棟と四の隅棟とある屋根、また四の隅棟が、一ヶ所に集るやうに造つた屋根。

流造 神社建築の一、妻は破風造で、棟より前の流れは後のより長く、向拜を覆ふもの、流破風造ともいふ。

向唐門 前後に唐破風ありて、木柱、柱柱共都合四本ある門。

大社造 正面は破風造、階段の中央でないことと、内部の一間に半間仕切があつて其間に神體を安置することとは、他の造り方に見ない特性。

薬醫門 木柱柱柱各二本づゝと、冠木、男梁、女梁等よ

り成り、屋根は一軒の切妻破風造の門。

桁行 小屋梁に直角なる方、梁間に對する語。

玄関 僧家の入口を玄関といひ、普通の家には玄關がなかつた。書院造起りてより其入口をも玄關といふ。

向拜 社の正前に出張つてある部分參詣人はここに禮拜する。

柿葺 枯板で葺いた屋根。

權現造 神社建築の一、拜殿と本殿との間に、中殿があつて、三者は連続した屋根で覆はれる。

校倉 方材を横に組立てて造つた倉のこと。

三間社 棟の内に、神體を安置する所が三つ並び居る社のこと。

椀瓦葺 椀瓦で葺いた屋根、椀瓦は横断面波状をなす瓦で、普通の家に用ふるもの。

切妻屋根 檼のなき屋根、故に其椼は軒と長さが同じである。

明神鳥居 笠木、島木、圓柱、額束、貫より成る普通の鳥

居。

水屋 寺社の前にありて、參詣人に手洗水を供するた水鉢を備へた吹抜の建物。水屋形、水燈舎ともいふ。

書院造 足利時代より従来の野殿造が漸次變化して、書院造と成つた。書院造では玄關、床の間、杉戸、雨戸、上段の間など現今の家屋に等しい。

上段の間 最上等の座敷のこと。

鐘樓 鐘を吊り置く建物、俗に鐘樓堂ともいふ。

寢殿造 玄關床の間などなく、床上に敷詰た畳もなく、縁側には雨戸もなく、現今の家屋とは全然異つたもの、書院造よりも古き造り方のものである。

神明鳥居 圓柱二本の上に圓笠木を載せ、其下方に貫を取

付けた簡素の鳥居。

神明造 神社建築の一、破風は千木と同直線内にあつて左右に懸掛を有し、棟下にはオヤ柱といふ突出した柱がある。

檜皮葺 檜の皮で葺いた屋根、檜皮とは檜の内皮を碎きて作る、一把の長さ五尺。

日吉造

神社建築の一、本殿は孤立して居り、櫓破風付き向拜造のもの。

平唐門 側面唐破風のある門、正面に唐破風あるは向唐門といふ。

裳階 裳掛を附した造り方、雪打造ともいふ。例へば法隆寺五重塔の最下層の如きもの。

隨身門 神社の中門、左右に隨身の像を置く。

透廊 吹抜の廊下のこと。

杉戸 杉の鏡板を用ゐて造つた戸、花鳥などを描いたものがある。

附 記

屋根の構造様式に就いては、次に挿入した圖によつて、其一斑を知了せられ度い。

特別保護建造物時代別

時代	期間年數	棟數	皇紀	在位
飛鳥	104	10	1267	推古天皇
			1370	元明天皇
寧樂	70	20	1371	元明天皇
			1440	光仁天皇
平安	117	6	1441	光仁天皇
			1557	醍醐天皇
藤原	287	27	1558	醍醐天皇
			1844	安徳天皇
鎌倉	209	200	1845	安徳天皇
			2053	後小松天皇
室町	179	355	2054	後小松天皇
			2232	正親町天皇
桃山	42	193	2233	正親町天皇
			2274	後水尾天皇
江戸	253	293	2275	後水尾天皇
			2527	明治天皇
現代		1	2528	明治天皇 今上天皇

屋根ノ四形

(文部省國寶帖ニ據ル)



A 切妻 C 寶形
B 四注(寄棟) D 入母屋

國寶及特別保護建造物現在縣別表

昭和二年七月末日現在 文部省調査

道府縣	繪畫	彫刻	美工	美術	刀劍	書畫	文書	其他	計	特種
北海道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京都	13	6	5	18	4	—	—	—	46	11
大阪府	310	249	40	13	130	—	—	—	811	300
神奈川	21	76	17	11	24	—	—	—	149	39
兵庫	27	43	14	—	28	—	—	—	112	5
長崎	42	85	8	5	9	—	—	—	149	37
新潟	1	—	—	2	—	—	—	—	3	17
群馬	—	10	1	—	—	—	—	—	11	8
埼玉	5	4	3	3	3	—	—	—	18	1
千葉	—	—	2	1	—	—	—	—	3	4
茨城	2	4	1	—	—	—	—	—	7	9
栃木	5	14	1	5	2	—	—	—	27	10
群馬	4	3	8	17	11	—	—	—	43	62
奈良	48	421	68	6	57	—	—	—	580	104
三重	17	55	4	3	13	—	—	—	92	13
愛知	17	22	5	22	9	—	—	—	75	32
靜岡	6	8	2	26	6	—	—	—	48	10
山梨	6	11	1	4	2	—	—	—	24	11
滋賀	82	341	19	2	45	—	—	—	469	121
岐阜	1	39	1	5	—	—	—	—	46	11
長野	3	19	1	2	—	—	—	—	25	13
宮城	—	—	—	3	—	—	—	—	3	9
福島	3	16	3	—	1	—	—	—	20	8
青森	1	6	6	1	1	—	—	—	15	3
山形	—	2	1	2	—	—	—	—	5	3
秋田	2	2	1	9	2	—	—	—	16	5
岩手	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1
福井	10	9	4	2	11	—	—	—	36	7
石川	2	9	8	2	8	—	—	—	29	10
富山	1	4	—	—	2	—	—	—	7	4
鳥取	4	10	3	1	—	—	—	—	24	5
島根	6	17	5	2	2	—	—	—	32	5
岡山	21	14	3	3	2	—	—	—	44	14
廣島	5	19	20	16	10	—	—	—	78	36
山口	3	8	3	8	5	—	—	—	27	13
和歌山	40	66	32	25	21	—	—	—	204	31
德島	5	15	—	1	3	—	—	—	24	—
香川	20	23	2	5	3	—	—	—	53	5
愛媛	—	7	10	5	2	—	—	—	30	10
高知	—	49	1	2	—	—	—	—	52	—
福岡	9	49	8	3	4	—	—	—	73	13
大分	—	15	1	4	—	—	—	—	24	6
佐賀	—	12	2	5	1	—	—	—	20	1
熊本	1	10	1	2	2	—	—	—	16	2
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿兒島	—	—	5	5	—	—	—	—	10	—
那霸	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—
合計	744	1,799	337	249	473	—	—	—	3,204	1,103

日本國 實全集 掲載府縣別表

〔昭和二年九月現在〕

京都	一七八	香川	九	鳥根	五			
奈良	一〇六	靜岡	八	三重	五	富山	二
神奈川	二九	兵庫	八	廣島	四	新潟	二
滋賀	二五	石川	六	岡山	三	福井	二
和歌山	二五	埼玉	六	高知	三	山形	二
大阪	一六	栃木	六	山梨	三	秋田	—
東京	一三	鳥取	六	長野	三	青森	—
巖手	一	福島	六	愛媛	二	鹿兒島	—
愛知	一〇	山口	六	佐賀	二	熊本	—
福岡	一〇	大分	五	德島	二	群馬	—

（自第三十輯）

昭和二年十月二十日發行
昭和二年十月廿五日印刷

實價
五圓五十錢

[0628]

不許複製

編輯者

日本國寶全集刊行會

右代表者 松田 福一郎

印刷者 田村 久惠

印刷所 國寶全集印刷部

發行所

東京代々木
五六二番地

日本國寶全集刊行會

R 709.2

N 77

終